

平成 24 年 5 月 20 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 酒井睦夫 様

議会報告会 4 班
班長 中川 弘
笠原 久恵
阿部 治正
森 亮二
徳増 記代子
藤井 俊行
田中 人実

私の班は議会報告会を開催し、その概要は次のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成 24 年 5 月 13 日 (日)
午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分
- 2 場所 北部公民館
- 3 欠席議員：なし
- 4 参加者数：18 人(+1 名事務局)
- 5 報告内容
[前半] 共通テーマ
平成 24 年度予算報告
[後半] 各班独自テーマ

市民が議会に望むこと (Free Discussion)

※ 特に市民側からテーマが無かったので、平成 24 年度
予算報告での意見交換項目の中から取り上げることで進めた。

6 意見交換内容

[平成 24 年度予算について]

- 1) 平和台 2 号緑地を土地開発公社で取得した件について
起債により取得していると思うが、これに伴う利息はどの程度か。金融機関に利息を支払うくらいなら愛郷債などによりその利息を市民に支払うべきではないか？

⇒金利の具体的な利率はわからない。現在所有している企業からの購入を急ぐべきではない（もう少し安く買える可能性があるのではということ）。

⇒現在の金利の傾向としては 2% 程度ではないか。

- 2) 商工会議所移行記念事業でもあるながポン事業の有効性について、今後の市からの補助金はどうなるのか。

又、ながポンは使える店が少ないとの意見についてどう考えるか。産業振興条例に基づく、商業振興策を検討すべきでは。

⇒リーダー等の初期投資の負担が大きく、普及は進んでいない。本来、市内のより多くのお店で利用できるようにすべき。

⇒ながポンに参加するメリット、商工会議所に参加するメリットの再検討が必要なのでは。

⇒ながポンが利用できるお店に地域的に偏りがある。

→商業振興として Free Discussion のテーマとする。

- 3) 集団回収に一本化された資源回収方法の報奨金について。現在 1kg あたり 8 円だが、他市同様 4 円に改め差額を別の事業（運河へのトイレ設置、駐車場整備、貸し自転車など）に使うべきでは。

⇒報奨金は各リサイクル団体で自治会館の整備、地域の見守り

事業などで有効に使われており、予算の公平な配分と言う意味からも有効であり、むしろ増額すべきとの意見も。

[Free Discussion]

1) ながポンを始めとする商業振興策について

カードリーダーの負担もあるが、何故広がらないのか問題点を良く調べることは必要。

⇒大手各社は独自のポイントカード事業を展開しており、ながポンは時代に対応できていない。利用者側からみたアイデアが不足している。

⇒ポイントカードの在り方(子育て世代にはポイントを厚くするなど)に工夫が無い。

⇒補助金ありきの事業になっている。事業者の側もやる気を出して欲しい。

⇒参加している地元商店の参加が少ない。地元消費を喚起することが必要であり、車で買い物に行けない生活弱者対策などを考慮すべき。

⇒地域のつながりの希薄化、生活に余裕がない、他のことに気が回らないなどの社会情勢もある。

⇒事業者側にも後継者不足という問題がある。

⇒ながポンは導入時の検討が不足していたように思う、ながポン、商工会議所とも参加のメリットが明確でなくお付き合いという印象をうける。

流山の商店街は生き残れるか？ 補助金で街は元気になるのか？ 等色々市民の集まりでも議論している。高齢者(消費者)のために商業はどうあるべきかとの視点が欠けているのではないか。配達サービスの実施や、シャッター商店街の賃貸料が高止まりして若い世代による新たな起業が中々出来ないのは問題である。消費者の視点が欠けているのでは。

⇒補助金は活性化の有効な手段ではない。

⇒大手スーパーに客を取られたと嘆く商店主みずからの買い物を何処でしているのか？

2) 行政における人事評価制度について

市長のタウンミーティングや会派の報告会など話を聴いたが、人件費は大卒、高卒など給料は持ち上がっている。民間は人事評価をしている。管理能力などの評価をして給与に反映している。窓口の対応は年々良くなっているようだが、廊下ですれ違う時など冷たい態度もいる。

⇒公務労働は、民間委託が進み、2分の1～3分の2の人件費になっている。

⇒流山市は千葉県で人口比で職員数が少ないまちと自慢している。職員が少なくなっていることで仕事量が増えている。たとえば、運河駅などの仕事は和束3人で、みなさんが利用しているぐりーんバス野仕事も3人でやっている。公務員の人件費を削減すると民間を引き下げるというマイナスのスパイラルに陥ってしまう。

⇒人事評価、部課長がやっている。他の市町村比でみると安い。仕事は様々な行財政改革ランキングが上がっているため忙しくなっている。しっかりしたリーダーで、もっと仕事ができるようにしてきることが必要。

⇒市長が代わってから（井崎市長）大変仕事が忙しくなった。男性職員、仕事のやりがいを上司がどう評価するか、自分を認めてくれるかどうか、など欠けている部署も見受けられる。民間企業は所得が下がっている。若い世代の所得も。頑張ってもどうにもならない時代。若い人の政策が必要。

⇒適正な人事評価で運営すべき。徹底すべき。

⇒民間と比べると評価の甘い。法律に守られている面があり、評価を給与に反映させることが出来ない。

3) 航空機の騒音問題について

民間航空機の経路に当たっていることもあり、航空機の騒音問題についても取り組んで欲しい。千葉市などでもその機運が高まっている。

⇒民間航空機というより防音対策が十分でない自衛隊機の可能

性があり、写真を撮っていただければ市の方で何らかの対処は可能。

7 参加者から議会への要望（アンケートも含む）

- 1) 放射能の予算、公共事業の予算は増えている。団塊の世代が地域の戻ってきている。女性のパワーの活用も考えてはどうか。
- 2) 能率の悪い仕事をしている。（民間委託業者）委託業者にもきちんと対応するようにしてほしい。
- 3) 市民が議会に望むものと言うことでの議論をお願いしたかった。テーマは事前に決めた方がよいのでは。
- 4) 議員定数削減はどうなった。

8 所感

準備不足の部分もあったが、事前に動員をしなかったこともあり発言を独占する市民も無く、より多くの市民と真摯に意見交換ができた。これまでの説明主体から一歩踏み出せた点は良かったと思われる。

また、**Free Discussion**ということでも事前のテーマ絞込みをしなかったが、報告会の中では中々テーマ抽出が難しいことも感じた。そのため、事前にテーマを提示して欲しいとの意見もありテーマ選定のあり方は引き続き大きな課題と言える。